

平成28年3月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年3月23日(水) 開 会 午前 9時30分
閉 会 午前 11時00分
2. 会 場 茅野市役所 8階大ホール
3. 出席委員 教育委員長 吉田 一 同職務代理者 小林 智
教育委員 小林 俊恵 教育委員 小平 光子
教育長 牛山 英彦
出席者 生涯学習部長 木川 亮一 こども部長 牛山 洋治
学校教育課長 平出 信次 文化財課長 守矢 昌文
スポーツ健康課長 鋤柄 敏 公民館長 矢島喜久雄
幼児教育課長 牛山津人志 こども課長 両角 勝元
生涯学習課長 小島 吉彦
教育総務係長 渡辺 雄一 こども係長 今井 明彦
教育総務主事 丸茂 直樹
4. 傍聴者 3名

3月定例教育委員会次第

日 時 平成28年3月23日（水）午前9時30分から

場 所 市役所 8階 大ホール

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育委員長報告

第2号 教育長報告

第3号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第4号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）4月1日付教育委員会関係の人事について

（2）教育委員会事務局職員の人事異動について

（3）規則・要綱等の改正について

（4）教育委員会公印の改刻について

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）市議会3月定例会一般質問について

（2）全国学力・学習状況調査について

（3）保育所運営審議会委員の選出について

（4）特別史跡尖石石器時代遺跡保存管理計画について（報告）

（5）御柱祭の使役について

（6）台湾高雄市中学校交流演奏会の開催について

次回定例教育委員会日程について

4月28日（木）13時30分「704会議室」

事務局会議 4月12日（火）10時00分「704会議室」

7 閉 会

吉田委員長

只今から、3月定例教育委員会を開催します。

まず、前月の2月の会議録の確認をします。何かありますか。

小林（俊）

一箇所訂正をお願いします。

吉田委員長

その他になれば承認ということでよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

それでは報告事項第1号、教育委員長報告についてお願いします。

3月はいくつかの卒業式に出させていただきました。私は米沢小学校と東部中学校に出席しました。東部中学校は校長先生がご退職という事もあり、そういうことで大変気持ちの籠った卒業式になったと思います。卒業式について、他の委員から各学校へ出席した際の感想を一人ずつお願いします。

小林（智）

私は、長峰中学校と湖東小学校の卒業式に出席しました。どちらの卒業式についても大変卒業生を送り出すという気持ちの籠った卒業式だったと思います。印象に残ったのは、卒業式の後に行われた離任式でした。表現の仕方が悪くていけないのですが、悪ガキというような子どもたちが、率先してありがとうございます、と言っていました。そういうような気持ちがどうかたちであれ、声を出して言っていて良いなと思いました。

小林（俊）

私は北部中学校と、泉野小学校の卒業式に出席しました。昨年度は、所用により中学校へ出席することができませんでした。今年は出席することができ、様子を見させていただきました。卒業式は非常に厳粛に行われました。小学校では、少人数を活かした卒業式でした。16人の卒業生ということで、卒業証書を渡す際に1人ずつ校長先生が、言葉をかけていました。関わった子供たちの晴れ姿を見るととても非常に良かったです。

小平委員

私は北山小学校と永明中学校へ出席させていただきました。小学校については、歌の交換が卒業生と在校生であったり、小学生らしい微笑ましい卒業式でした。中学校では卒業証書をもらったあとに、ステージで「お父さん、お母さんありがとう」というような事を親御さんに伝えているお子さんがいました。今回初めて参加させていただいて自分の子どもの小学校、中学校の卒業式とはだいぶ違うのだなということを実感しました。

吉田委員長

以上で委員長報告とさせていただきます。

次に第2号教育長報告をお願いします。

教育長

委員さんたちと同じように私も卒業式についてお話をさせていただきます。卒業式とは何かという意味合いを、子どもたち自身が子どもたちの行動と言葉で表現した卒業式は今までになかったと思いました。なぜ私がそのように感じたかという、例年は必ず歩き方、証書のもらい方が少しはずれている子どもたちがいました。今年は一人もいませんでした。卒業生がそのような歩き方、証書のもらい方をするので、在校生に非常にいい影響、雰囲気伝えていました。これこそ、卒業式なんだということを改めて感じさせていただきました。小学校、中学校どちらも非常に校歌、卒業式の歌の歌い方が非常に心に籠っていると感じました。やまびこ園の卒業式にも出席させていただきましたが、1年前の4月に入学式にも出席させていただきましたが、その時の様子に比べて修了式での子どもたちの成長に驚きました。やはり教育を受ければ受けて、このように成長するのだと感じさせていただきました。

17日の先生方の退任式ですが、やはり前日の卒業式の雰囲気を引き受けての送別式と感じました。子どもに関わる教師たちが本気になって関われば成果、効果がこのように関係していくと感じました。

吉田委員長

次に報告3号各課から報告をお願いします。

[各課から3月行事予定について報告]

資料（報告3号）

吉田委員長

生涯学習課の27日にある読書教育研修の対象はどのようになっていますか。

生涯学習係長

校長先生、新任の先生を対象としております。

吉田委員長

承知しました。

吉田委員長

次に報告事項第4号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]
資料（報告4号）

吉田委員長

次に議案1「4月1日付教育委員会関係の人事について」学校教育課長からお願いいたします。

学校教育課長

教育支援指導主事の配置が決まりました。鎌倉明德先生が学校教育課からこども課へ異動、樋口由照先生が学校教育課で継続、三宅和夫先生が幼児教育課で継続、雨宮節二先生が生涯学習課で継続となっております。また新任の先生が、永明小学校の山田利幸校長、東部中学校の五味康剛校長が、新しく学校教育課で任用となります。北山小学校の伊藤洋二校長が公民館で任用となります。

校長先生方の人事についてはこのような形になりましたので、ご確認ください。

吉田委員長

ご質問等ございますか。

ないようですので承認とさせていただきます。

次に議案第2号「教育委員会事務局職員の人事異動」についてこども部長からお願いします。

こども部長

資料説明（議案2）

[概要]

各課、施設、小学校、保育園の職員の異動について説明。

生涯学習部長

資料説明（議案３）

〔概要〕

各課、施設の職員の異動について説明。

吉田委員長

教育委員会全体として見れば、人が増えているということで強化されていくということ
でよろしいですね。

なにか質問等ございませんか。

ないようですので承認とします。

次に議案３「規則・要綱の改正について」各課から説明をお願いします。

幼児教育課長

議案３（資料説明）

〔概要〕

まず、改正となった経過を説明させていただきます。行政不服審査法が改正となりまし
て、今年の４月１日から施行となっております。それに伴い茅野市の条例・規則の改正と
なっております。行政不服審査法の改正の要点としましては、公平性の向上、使いやすさ
の向上、救済手段の充実が図られたということになります。具体的な内容につきましては、
審理委員制度の充実、不服申し立て期間が６０日から９０日への変更となっております。

茅野市教育委員会保育所における保育を行うことに関する規則

茅野市保育の必要性等の認定に関する規則

茅野市家庭的保育事業等の認可の手続きに関する規則

茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例施行規則

茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の手続に関する規則

茅野市保育所保育料徴収規則

上記の規則の様式変更部分について説明。

教示文についての説明。

幼児教育課長

幼児教育課からの説明は以上になります。

吉田委員長

説明していただいた部分についていくつか確認をさせてください。

教示文について大きく変わった点についてはどの箇所になりますか。

幼児教育課長

「この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に審査庁に対して審査請求をすることができます。」とありますが、ここの3か月という部分が、以前は2か月だったところが3か月となっております。

また今までは審査庁で審査していたところを、新たに行政不服審査会で審査をするようになります。茅野市の場合は、諏訪広域連合に共同設置しておりまして、そちらでその事務を担うというような変更になります。

吉田委員長

承知しました。

最初の2つの規則の公布については、教育委員長名のもので、それ以降のものは市長名ということになりますが、市長名のものについては承知しておくということでよろしいですね。

こども部長

はい。

学校教育課長

茅野市教育委員会事務委任、専決及び代決規則

学童クラブ条例施行規則

上記の規則の教示文について様式の変更について説明。

茅野市小学校及び中学校通学費補助金交付規定

「通学路として指定されている」を「自宅から学校までの最も経済的かつ合理的な通常のに改める。」

上記のような変更となります。

吉田委員長

基本的に文言の表示方法、情報のずれを訂正するという内容ですね。

学校教育課長

はい。通学路については、「通学路として指定されている」を「自宅から学校までの最も経済的かつ合理的な通常のに改める。という変更になりますが、それ以外については内容は、変わっていません。

吉田委員長

ご質問等ございませんか。

ないようですので、説明していただいた教育委員に関わるところについては承認となります。

次に議案４号「教育委員会公印の改刻について」学校教育課からお願いします。

学校教育課長

今までに使っていた「教育委員会印」２つ「教育長印」１つが、長年使用したことにより角が削れてきたということで、ここで新しい公印にするということになります。

吉田委員長

ご質問等ございませんか。

ないようですので、承認とさせていただきます。

議案については以上で終了となります。

次にその他１「市議会３月定例会一般質問ということで両部長から説明をお願いいたします。

こども部長

こども部は６人の議員から質問をいただいております。

北沢千登勢議員から「子どもを健全に育む取組の推進について」ということで、学童クラブの利用拡大について、子どもを性被害から守る取組、ユネスコスクールの加盟について、質問をいただいております。

学童クラブについては２８年４月から学童クラブの受け入れを小学校６年生までに拡大することになりました。第２子以降の利用料については現時点では考えていないが、今後の子どもの貧困、子育て支援等の様々な観点から判断していく。

子どもを性被害から守る取組には、県で子どもを性被害から守るための条例制定を進めている。茅野市ではケータイ・インターネット問題検討会議、青少年健全育成推進大会での講演会等により、携帯電話、ゲーム機等の使用にひそむ危険性を周知しているが、今後も啓発活動をさらに進めていく。

ユネスコスクールへの加盟については、ユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校が加盟するユネスコスクールに、永明小学校が登録を進めている。このような活動は、各学校長の教育課程の一環としての取組で、加盟により教育活動がさらに向上していくことを期待している。

以上が回答になります。

次に樋口敏之議員からは「市内小中学校の情報通信環境とその活用について」ということで小中連携一貫教育の現状について、小中連携及び国際におけるＩＣＴ活用について、質問をいただいております。

小中連携一貫連携教育の現状について、市では、平成２４年度から「小中連携・一貫教育」を取り上げ、平成２７年度からは、「小中一貫教育」と改め、「自ら学び、高め合い、ともに豊かな学びと生きる力を育む小中一貫教育」と位置づけ取り組んでいる。今後、義務教育学校ではなく、併設型小・中学校で進めていきたい。

小中連携及び国際交流におけるＩＣＴ活用については、市ではタブレット端末を購入して、ＩＣＴ教育を進めているが、活用しきれていない先生がいるのも事実である。今後、小中一貫教育や国際交流等を進める中で、相互に通信できる環境を整備することも必要と考えている。

以上が回答になります

次に両角昌英議員から「幼保小連携教育の取組状況について」ということで、小学校、保育園、小学校に取組の温度差はないか、現場の先生に戸惑いはないか、子ども達の様子はどうか、幼保小連携教育の課題について、質問をいただいております。

小学校、保育園、小学校に取組の温度差はないかについては、幼保小連携教育は、接続期カリキュラム・職員連携・異年齢交流・保護者連携の３つの連携で行っている。子どもの姿を通してカリキュラムの意味を理解し合う研修の場を設け、同じ意識で進んで行く取組等を行っているので、温度差はない。

現場の先生に戸惑いはないかという質問ですが、職員を対象のアンケートでは９５％の職員が連携教育の必要性を感じている。人事異動の職員には、早い時期のスタートカリキュラム研究会や学校区ごとの職員会議、職員研修、講演会に参加して知識の習得に努めていただいている。

子ども達の様子については、スタートカリキュラムでは、学びへの意欲につながり、学校に行くことが楽しいと感じている子が多くみられ、アプローチャカリキュラムでは、始業のチャイムが鳴ると、さっと教室に戻り話を聞く姿など、小学校での生活や学習が無理なく進めている。

幼保小連携教育の課題については、幼保小連携教育を進めるうえでは、保育力や教師力の向上は言うまでもなく、子どもの今ある姿から学ぶ姿勢が大切になる。また、職員同士の連携や同じ意識で取り組むことが不可欠となる。

以上が回答となります。

同じく両角昌英議員から「小中一貫教育の状況について」ということで、小中一貫教育の進み具合はどうか、幼保小連携教育との繋がりはどうか、茅野市が目指す小中一貫教育の形は何か、質問をいただいております。

小中連携一貫教育の進み具合はどうかについては、「自ら学び、高め合い、ともに豊かな学びと生きる力を育む小中一貫教育」と位置づけ、中学校区ごとに全体構想を考え、一斉

授業から脱却を目指し、「共同的な学び」の実現に向け取り組んでいる。また、小中一貫連携教育推進委員会や中学校区小中一貫教育委員会をつくり、教育課程等の編成に取り組んでいる。

幼保小連携教育との繋がりについては、保育園・幼稚園は生涯にわたる生きる力の基礎が形成される教育の原点の場であり、その後の小学校・中学校教育にも大きな影響を与える場であるため、幼保小連携教育から小中一貫教育へと子どもたちの学びが連続することが重要である。

茅野市が目指す小中一貫教育の形は、茅野市は、義務教育学校ではなく、義務教育学校に準じて一貫教育を施す併設型小・中学校で進めていきたい。また、小中一貫教育を進めるには、学校施設の整備面も考慮する必要がある。

以上が回答となります。

次に伊藤玲子議員から「子どもの貧困対策と子育て施策について」ということで、子どもの貧困の対策について（当市の貧困の実情や拝啓・現状把握、法の施行に伴う、市の施策の進捗状況）、学校現場での貧困等の把握について、子どもの欠食の問題について、要保護児童対策地域協議会について（役割、構成、開催の頻度、課題）について、質問をいただいております。

子どもの貧困の対策については、子どもの貧困問題で最も深刻とされている母子世帯は、現在625世帯で523世帯が児童扶養手当を受給し、生活保護世帯147世帯のうち母子家庭は19世帯となっている。就学援助を受給している児童生徒は560人となっている。

学校現場での貧困等の把握について、学校での給食費の滞納などがみられる家庭や経済状況が困難と思われる家庭には、学校側から就学援助制度を紹介し、特に気になる家庭には、担任、SSWが親との面談や家庭訪問をして対応している。

子どもの欠食問題については、欠食児童生徒の中には、家庭で朝食の用意がないため、空腹のまま登校する子どもがいる。各学校では、欠食など問題がある児童生徒に対しては、食育の重要性を促し、市では家庭生活支援として、育児・家事援助による食事作りの支援も行っている。

要保護児童対策地域協議会については、虐待児童の早期発見と適切な支援を図るため、要保護児童対策地域協議会を設置している。要対協では代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、要保護児童の早期把握と必要な支援につなげている。

次に長田近男議員から「学校給食無料化について」ということで、茅野市の就学援助制度の内容と援助費の内訳について、学校給食の現状について（小学校、中学校の1食分の単価、小学校、中学校の給食費の積算額）、学校給食費を無料化することについて、質問をいただいております。

茅野市の就学援助制度の内容と援助費の内訳について、教育基本法、学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒に学用品や学校給食経費の90%を

補助している。また今年度から中学校台湾交流事業も対象として、3名に補助をした。28年2月末現在560人が受給している。

学校給食の現状について、給食費の算定方法は、文科省が示している食品構成に基づき献立を考え、単価を積み上げ算出している。小学校は1食285円、中学校1食340円である。

学校給食費を無料化することについて、学校給食費は学校給食法の規定により、人件費、施設・整備に要する経費は学校設置者の負担、それ以外の経費は保護者の負担とされているため、今後も保護者にお願いしたいと考えている。

以上が回答となります。

次に伊藤正陽議員から「18歳選挙権と投票率向上について」ということで投票率を上げるために、教育と行政（教育委員会選挙管理委員会）は何ができるか、質問をいただいております。

市では縄文科などを通して生きる力の基礎を養い、税についての作文や広島平和の旅を通して、政治や選挙に関心が持てる教育をしている。また、中高生のこども未来プロジェクトの参加を通して、身近な地域を住んでみたくなるまちにするための活動をしている。

以上が回答になります。

生涯学習部長

生涯学習部では丸茂岳人議員から「茅野市民プランについて」ということで歴史的資料の保存及び閲覧方法について、質問をいただいております。

市民プランの情報化分野は、先進的な情報化モデル都市の創生として茅野市まるごとアーカイブを掲げている。アーカイブとは、文化資源などをデジタル化して保存すること。この取組のあるべき姿は、市内に残る貴重な資料をデジタル化して、データをインターネットで公開し、様々な場面で有効活用すること。尖石縄文考古館では、収蔵している土器4,053点の写真をデジタル化し、その一部は、昨年末に運用を始めた縄文専門ホームページで公開している。

八ヶ岳総合博物館では、平成25年度に緊急雇用創出事業を活用して、収蔵資料33,246点の目録のデジタル化をした。また、古文書類の目録3,260点のデジタル化も行い、古文書講座などを活用している。茅野市図書館では、約20万点の資料等について、タイトルや作者、内容の紹介を、インターネットで検索できるようにしている。

デジタル化を進めてきたが、インターネットでの公開は、個人情報や権利関係、肖像権著作権などに配慮する必要がある、一部にとどまっている。市民プランに掲げた所蔵資料の内容までデジタル化しインターネットで公開することは、難しい状況。今後、デジタル化して公開できることと、できないことを明確にして、次期総合計画につなげたい。

吉田委員長

なにか質問等ございますか。

小林（智）委員

議会一般質問とは関係ない話になってしまうかも知れませんが、ＩＣＴの話題がありましたが、茅野市で学習障害のお子さんがいるかどうか、もしいるのであればタブレットを活用した授業で進めているということがあるということを知ったことがあります、現在の状況としてはどのようなになっておりますか。

学校教育課長

現在、個人に任せてしまっている部分もありますが、教育委員会から個人にタブレットをお渡ししているという事は現状ではありません。障害を持っている方が動かし方を覚えなれないといけないところもありますので、家庭の方で積極的にやっけていただいている家庭もあります。

小林（智）委員

学習障害の方たちが普通の教科書だと読むことができないがタブレットだと読むことができるということで、授業と一緒に受けられるという形になると思います。

こども部長

今年から永明小学校でＬＤ、学習障害の教室が新しくできましたので、茅野、富士見の方が通っていきまして、その中で対応しているというようになります。各学校にはタブレット端末を配布しておりますので、もし学習において成果が見られるようであれば、そのような形になるかと思います。専用の教室がありますので、通常の教室でやっていかも課題になってくるかと思います。現在は、学習障害の教室で教科科目によっては使用しているという状況になります。

学校教育課長

使用の方法も覚えなければいけないという問題もありますが、通常の学級で使うとなるとどのように使用していくか、実際に見たことがないので詳しくは分かりませんが、きちんと通常の学級の授業に合わせて使用できるのかという問題もあるかと思います。

小林（智）委員

タブレット自体があれば、アプリ、教材などについては無料でダウンロードできるかと思います。ただそれを先生が有効に使えるかという問題もあるかと思います。

こども部長

現在各学校でタブレットを配布しておりますが、教諭によって差がでてしまうという課題もありますので、ICT支援員というような支援員の配置も考えていかなければならないかと思います。

教育長

補足させていただきます。通常学級、特別学級どちらにしても、学校の先生方から「タブレットをもっと導入してくれ」という話は現在出てきておりません。現在の授業でもまだなんとかなる、なんとかならない子ども達については諏訪養護学校へ親の方から行っているという現状です。諏訪養護学校へ通わなければいけない子どもで、親の方から通常学校でなんとか学習させてほしいというような声も今は聞いておりません。保護者、学校の先生方からそのような声があがっていませんので、現在の授業でもなんとかなっているという現状かと思います。

小林（智）委員

学習障害については、発達障害と同じにされていて、区別もしにくいということもありますが、学習障害についてはタブレットを活用すれば、テストの点などが実際に上がったというようなことを新聞で見ましたので質問をさせていただきました。

吉田委員長

先生方から、タブレットなどの要望が出た際には、財政面の問題もあるかと思いますが、ご配慮いただけるようお願いいたします。

こども部長

特別教育での成果などについても、後ほど確認をさせていただいて、資料を作成したいと思います。

吉田委員長

他に質問等ございませんか。

次にその他2「全国・学力学習状況調査について」学校教育課から説明をお願いします。

学校教育課長

4月19日に全国学力・学習状況調査が行われます。茅野市の学力の状況を発表するというようなものではなく、各学校の先生方に問題点を知っていただくための調査となっております。

吉田委員長

昨年度の全国学力・状況調査と変わらない、ということを承知するということによろしいですか。

学校教育課長

はい。

吉田委員長

次にその他3「保育所運営審議会委員の選出について」ということで幼児教育課長からお願いします。

幼児教育課長

保育所の運営につきましてはこの運営審議会で審議を行っております。教育委員からは2名の選出させていただいております。平成28年度も同様に2名の選出をさせていただきたいと思います。

吉田委員長

委員については後ほど決めさせていただきます。

次にその他4「特別史跡尖石石器時代遺跡保存管理計画について（報告）」というところで文化財課から説明をお願いします。

文化財課長

〔概要〕

平成5年に「基本計画」を踏まえ、今日的な視点から尖石遺跡の今後の保存と活用の方針を示すため、茅野市教育委員会では保存管理計画委員会を設置し「特別史跡尖石石器時代遺跡保存管理計画」を策定しました。この計画を策定してから15年以上が経過しておりまして、縄文プロジェクトを背景とする市民及び行政の史跡に対する意識、史跡を取り巻く環境の変化等により、特別史跡尖石石器時代遺跡を保護し、育て活用してくかをまとめるということで、今回の「特別史跡尖石石器時代遺跡保存管理計画」を作成させていただきました。

資料説明（その他4）

吉田委員長

当市には、この他に国の指定史跡があるかと思いますが、それについてもこの管理計画が今後できてくるということによろしいでしょうか。

文化財課長

その他の史跡に関しましても文化庁から保存計画が求められております。

吉田委員長

他に質問等ございませんか。

次にその他 5 「御柱祭の使役について」 学校教育課からお願いします。

学校教育課長

御柱の使役について確認をお願いします。雑踏警備、駐車場警備が部ごとに人数が割り振られております。詳細についてはまだ出ておりませんので与えられたところに配置をお願いします。また 4 日は月曜日となりますので、人手不足になり、業務が回らないということがないようにお願いします。また各施設が御柱に伴い休館となります。

吉田委員長

各自連携をとりながら対応をお願いします。

次にその他 6 「台湾高雄市中学校交流演奏会の開催について」 学校教育課からお願いします。

学校教育課長

5 月 22 日に演奏会が行われますが、詳細についてはまだ決まっておりませんが、生徒だけでなく、市民の方にも聞いていただきたいというような要望がありますので、PR の仕方も考えなければいけないと思います。台湾のレベルの高い演奏を一人でも多く茅野市民の方に聞いていただきたいという要望もいただいております。学校教育課では対応しきれないところもありますので、教育委員会全体として協力をお願いいたします。

吉田委員長

教育委員会全体の取組として、必要があれば観光課なども協力していただいて、交流事業を進めていただきたいと思います。

次回定例教育委員会ですが、4 月 28 日木曜日午後 1 時 30 分から、事前を午後 1 時から開催したいと思いますので、よろしいですか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で３月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成28年4月28日

茅野市教育委員会 委 員 長

同職務者代理

委 員

委 員

教 育 長

こ ども 部 長